

新型コロナウイルス療養期間の短縮に関する情報

新型コロナウイルスに感染した児は感染して 8 日目から登園が可能になりました。しかし、療養期間の短縮は「ウイルスの排泄期間が短くなったから」ではなく、社会機能を維持するために行われたものです。新型コロナウイルス感染後、10 日間は感染力がある可能性があります。療養可能な園児は 10 日間の療養が望ましく、8 日目から登園する場合にはできるだけ感染防止に努めてください。

厚労省は保育園での新型コロナウイルス感染者の取り扱いについて、有症状の子どもは「発症日から 7 日間経過し、かつ、症状軽快後 24 時間経過した場合に 8 日目から登園することは差し支えありません。また、子どものマスク着用については、これまでも 2 歳未満では、マスク着用は奨めておらず、引き続き、個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との距離にかかわらず、子どものマスク着用を一律には求めないこととしておりますが、10 日が経過するまでの間における感染予防行動については、基本的な感染症対策としてこまめな手洗い、消毒などの基本的対策の徹底に加え、効果的な換気を実施するとともに、施設の規模や子どもの状況などに応じて、大人数での行事等感染リスクが高い活動を避けるなど感染を広げない形での保育を実践する等といった取組を行うなどの感染症対策の徹底をお願いします」としています。

忽那賢志先生 新型コロナはいつまで人にうつる？オミクロン株に感染し療養解除になった人から感染する心配はない？ YAHOO ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/byline/kutsunasatoshi/20220910-00314424>

によるとデルタ株の感染者と比較してオミクロン株の感染者は特に感染性のある期間に差はないという報告が複数出ており、基本的には発症から 10 日目くらいまでは周りに感染させようということになります。国立感染症研究所の解析では、オミクロン株の感染者のうち 16%は発症から 8 日目の時点でもまだ感染性があると推計されています。日本におけるオミクロン株感染者の発症からのウイルス量の推移について解析した研究では、ウイルス量のピークは発症後 3~6 日の時期であったとされています。第 92 回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料 3-5-②

療養期間が短縮されたのは「ウイルスの排出期間が短くなったから」ではなく、社会機能を維持するためという政治判断に基づくものです。早く仕事に復帰して社会を回していくこと自体はとても大事なことです。しかし、療養から復帰してからしばらくは周りに感染を広げないように十分な注意が必要です。具体的には、屋内ではマスクを着用すること、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方と会うのは避ける、会食は延期すること、などが挙げられます。

と解説されています。